

授業科目

国際競技マネジメント論

【担当教員名】 柵木聖也	対象学年	4	対象学科	本*
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

<概要>

ナショナルチームを筆頭としたハイレベルなスポーツ競技チームを指導・サポートする立場の者にとって必要な知識を習得する。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>

国際化が進む今日の社会において、スポーツもその例外ではない。一国の代表であるナショナルチームを筆頭として、その競技レベルに比例して国際試合に臨む機会は多くなるが、長期間にわたる海外遠征、またそれに伴う長距離の移動などに付随して発生する問題は避けて通ることのできないものである。加えて、国際的な場で活躍することのできる競技選手の育成には、タレントの発掘に始まるジュニア世代からの一貫した強化体制が必要とされるが、そこにもクリアしなければいけない様々な問題がある。もちろん、すでに編成されているトップ選手チームのマネジメントにおいても同様のことが言えよう。本講義では上述の諸問題に対し、どのようなアプローチをすることで国際レベルの競技者集団のレベル向上に寄与することができるかを学ぶ。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	講義内容等に関するガイダンス		柵木
2	競技者育成と評価		
3	競技者育成システムにおける指導計画（わが国の競技者育成システム事例の紹介）		
4	競技者育成システムにおける指導計画（海外の競技者育成システム事例の紹介）		
5	ナショナルチームの編成に係る諸問題		
6	競技力向上のためのチームマネジメント導入 （現状把握、情報収集・分析、計画、実践、評価、リーダーシップほか）		
7	そのグループ討議		
8	同上		
9	同上		
10	グループ討議の結果の発表・質疑応答		
11	同上		
12	海外遠征における諸問題とその対応(1)		
13	海外遠征における諸問題とその対応(2)		
14	競技スポーツとIT（VTR、インターネットなどを利用した情報収集・分析）		
15	評価		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考書				
その他の資料	必要に応じ、適宜参考資料を配布する。			
【評価方法】 出席状況およびグループ討議への参加姿勢、期末試験の結果等により総合的に評価する。	【履修上の留意点】			

健康スポーツ学科 専門